

Question /

生徒の“生き物が好き”という漠然とした気持ちを
将来に結びつける学びはないものか？

今知っておきたい

新しい学び
トレンドStory by
長浜バイオ大学医療・創薬・食糧生産・品種改良・環境保全…
幅広い業種で活躍するバイオの
専門性と汎用性を学べる

社会の多様な場面で役立つ
汎用的な技術を身につける

「動物や魚が好き」という、生き物に対する漠然とした興味や愛着をもった高校生は、文系・理系問わず少なくない。しかし、その興味と進路は別と考えていたり、将来に結びつけたいけれど、どんな分野で学んだらよいかわからない場合も多い。

医療・創薬・食糧生産・品種改良・環境保全など、生き物に関わる幅広い領域の科学がバイオサイエンスで、そこで活用される技術がバイオテクノロジーだ。長浜バイオ大学は『バイオ』に特化した学びを提供している単科大学である。

バイオは、かつては遺伝子操作などのイメージが強かったが、現在では左図のように研究領域は多岐にわたり、その技術

多彩な学びから幅広い進路選択へ

長浜バイオ大学の
多彩な研究領域

卒業生の活躍業界

食品関連	環境関連
化学関連	医療関連
医薬品関連	
理化学・医療機器関連	
IT関連	動物関連
農水・畜産関連	
研究等専門技術サービス	
受託研究・検査	
教育・研究機関	その他製造
小売関連	公務員
	その他

学習活動・学生生活を支える土台

少人数の担任制



学習支援センター



学生チューター制度



900時間の実験・実習



は広く汎用的に利用され、親子鑑定や犯罪捜査など実社会でも役立つ。例え、古代人のDNA鑑定もバイオ技術で、文系の考古学も関連する学問になっています」と伊藤正恵学長は語る。卒業生も多岐にわたる業界で活躍している。研究領域が多岐に広がっているのも、生き物への興味や漠然としていても入学後に好きな分野を見つかることができ、一方、既に好きなことがある学生はさらに「好き」を極めていくことができる。理系大学では通常、卒業研究は3年次以降に始まるが、長浜バイオ大学では1年次から「バイオ実験夢チャレンジ」という個人の興味で自由に研究・発表を行う科目がある。高校で好きなことをテーマに探究活動してきた学生が、その探究心を途切れさせることなく研究し続けることも可能なのだ。例えば近年の学生たちは、「漬物にはどのような微生物が含まれているのか」「ミジンコを用いた意思と感情の考察」「神経系疾患のネットワーク研究」「抗菌作用が高いのはどのお茶なのか」などのテーマで「夢チャレンジ」を実践している。

さらに同学の最大の特長が、1～3年次で900時間もの実験・実習の時間を設けていることだ。少人数制の個別指導の環境で、学生たちは教員やTAのサポートを受けながら実践を積み、成功体験を重ねている。成功体験は自らチャレンジし続ける積極性や、自分

Information

長浜バイオ大学

Data

〒526-0829

滋賀県長浜市田村町1266

Tel 0749-64-8100 (代)

Url <https://www.nagahama-i-bio.ac.jp>

Event

オープンキャンパス

10/26(日)、12/14(日)

の好きなことを見極めていくことにもつながっている。また、高校のように担任制で、6～8人ほどの少人数ホームルームを作り、密度の濃い人間関係の中で学べる安心感も生み出している。さらに先輩学生チューターが入学後全員の学生生活をサポート。学びに悩んだときは「学習支援センター」で個々に学習方法を相談できるなど、文系から入学した学生でも不安なく学べる環境が整っている。

「教職員や先輩たちから手厚いサポートを受けながら、多彩な学びの分野から自分の好きなことを見つけ、学びを深めた結果として幅広い業種・職種で社会課題を解決できる人材に育っていきます。学生一人ひとりが主役になれるのです」(伊藤学長)

『バイオ』の専門性と汎用性を兼ね備えた長浜バイオ大学の卒業生の活躍の場は広い。

新増設

新入試

高大連携

グローバル

キャリア教育

新しい学び

研究力

地域連携